

令和7年度 南部6市町在宅医療・介護連携推進事業
『看取りケア』～患者・入所者の想いを家族と共に多職種で支える！～
多職種連携研修会 報告書

日 時：令和7年12月23日（火）19：00～20：30

場 所：南部地区医師会館 2階ホール

主 催：糸満市・豊見城市・南城市・与那原町・南風原町・八重瀬町・南部地区医師会

参 加 者：107名

<内訳>

医師2名、医療機関看護師10名、MSW・PSW8名、リハビリ職5名

施設管理者・代表者4名、看護職（居住・施設系）12名、介護職（居住・施設系）10名、訪問看護師18名、訪問介護1名、介護支援専門員20名、行政1名
支援相談員・生活相談員2名、包括（保健師、社会福祉士、リハビリ職、主任介護支援専門員）6名、その他8名

アンケート回答者：98名 回収率92%（98人/107人）

プログラム 講演&意見交換

座長 南部地区医師会 在宅担当理事 當山 真人 氏

講 演：「多職種で支える看取りケア～その人らしい最期を地域で支える～」

講 師：社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院 看護部
緩和ケア認定看護師 小田島 恵子 氏



座長 當山 真人 氏



講師 小田島 恵子 氏

地域の中で支える看取りへ

『自然な看取り』を望む人々も増えてきている

誰もが望む場所で、安心して療養したり、
最期を迎えることができるような体制の構築が必要

一人の死を支えるためには、看取りの知識や
医療・介護との連携、多職種での連携・協働が重要

多職種で想いを共有しながら
一人の人の看取りを支えていく



令和7年度 南部6市町在宅医療・介護連携推進事業

『看取りケア』～患者・入所者の想いを家族と共に多職種で支える！～
多職種連携研修会 アンケート調査報告書

アンケート回答者：98名 回収率92% (98人/107人)

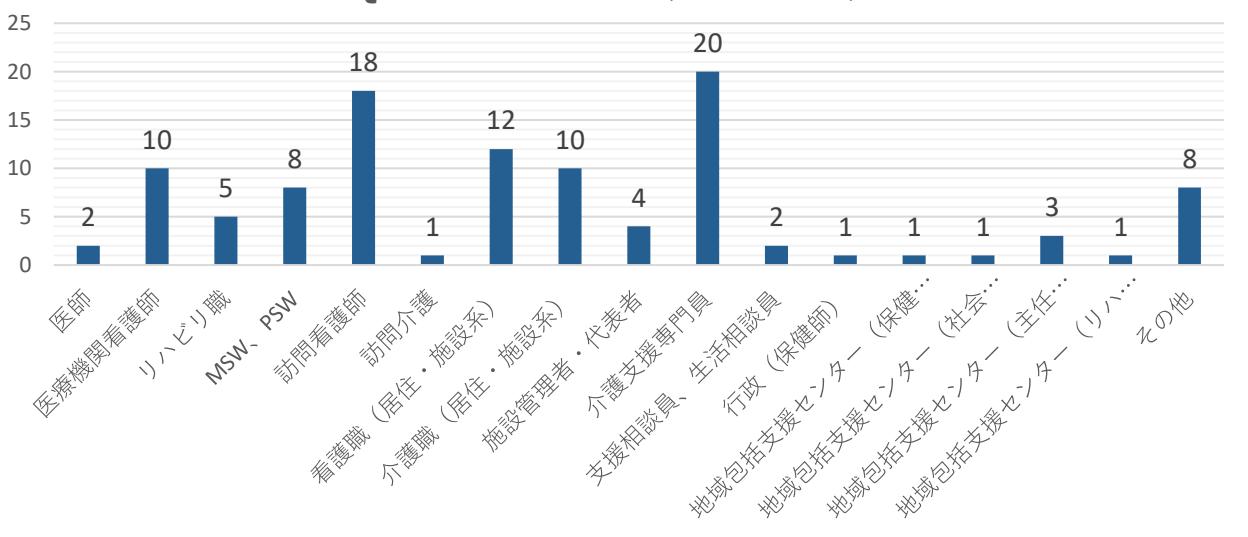
Q1. 参加者の職種について（総数107人）

職種では、介護支援専門員が20人（19%）と最も多く、次に訪問看護師が18人（17%）看護職（居住・施設系）が12人（11%）と回答があった。

職種	人数	割合
医師	2	2%
医療機関看護師	10	9%
リハビリ職	5	5%
MSW、PSW	8	7%
訪問看護師	18	17%
訪問介護	1	1%
看護職（居住・施設系）	12	11%
介護職（居住・施設系）	10	9%
施設管理者・代表者	4	4%
介護支援専門員	20	19%
支援相談員、生活相談員	2	2%
行政（保健師）	1	1%
地域包括支援センター（保健師・看護職）	1	1%
地域包括支援センター（社会福祉士）	1	1%
地域包括支援センター（主任介護支援専門員）	3	3%
地域包括支援センター（リハビリ職）	1	1%
その他	8	7%
合計	107	100%

n = 107人

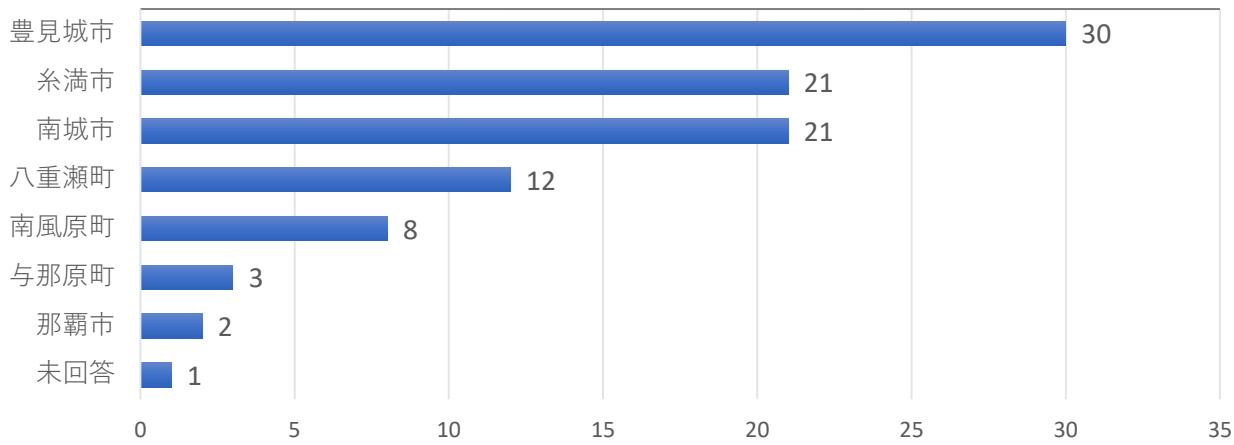
Q1. 参加者の職種（総数107名）



Q 2. 勤務する事業所の所在市町村についてご記入ください（総数98人）

勤務する事業所の所在地では、豊見城市が30人（31%）と最も多い、次に糸満市と南城市が21人（21%）、八重瀬町12人（12%）の参加があった。

Q2.勤務する事業所の所在地



n = 98

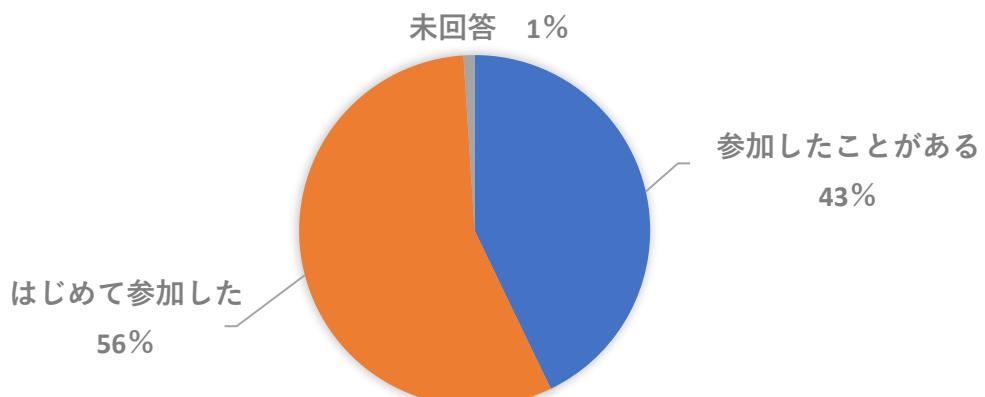
Q 3. 当センターは平成30年より多職種研修等を開催しておりますが、これまでに当センター主催の研修会へ参加したことがありますか。

初めての参加が55人で（56%）で最も多い、参加した事があるが42人（43%）であった。

	人数	割合
参加したことがある	42	43%
はじめて参加した	55	56%
未回答	1	1%
合計	98	100%

n = 98

Q3.当センター主催の研修会へ参加について



Q4. これまで参加してこなかった理由をお聞かせください（初参加の方のみ）

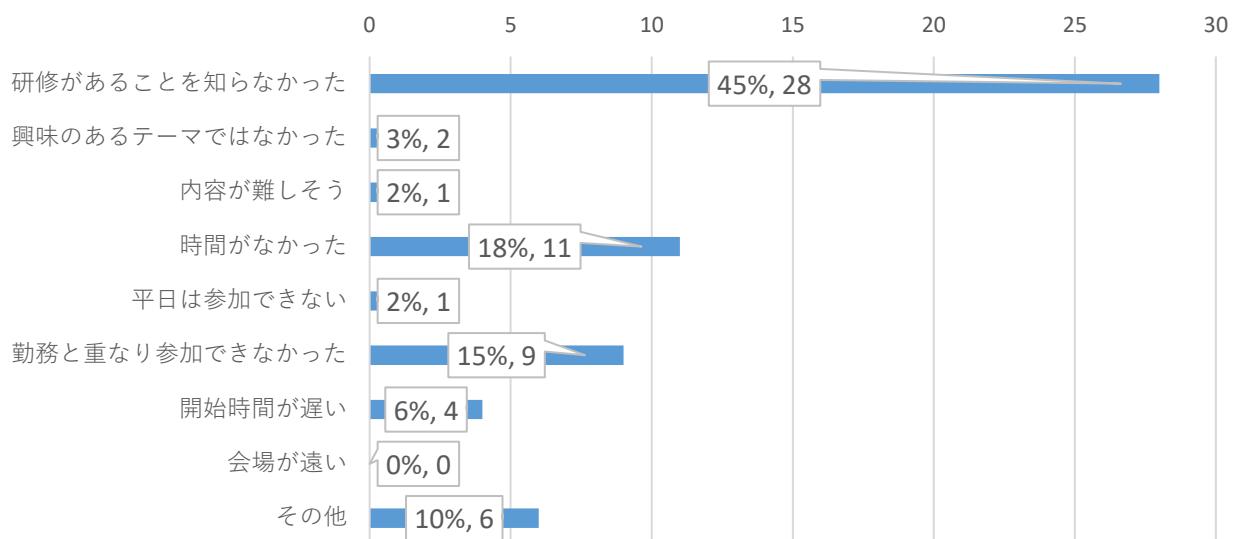
※複数回答可

「研修があることを知らなかった」が28人（45%）で最も多く、次に「時間がなかった」11人（18%）であった。その他では、「勤務地が南部地区以外だった」や「これまで医師から声掛けがなかった」などが理由としてあがった。

	人数	割合
研修があることを知らなかった	28	45%
興味のあるテーマではなかった	2	3%
内容が難しそう	1	2%
時間がなかった	11	18%
平日は参加できない	1	2%
勤務と重なり参加できなかった	9	15%
開始時間が遅い	4	6%
会場が遠い	0	0%
その他	6	10%
合計	62	100% n = 56

Q4.これまで参加してこなかった理由はどうしてですか？

（初参加の方のみ）※複数回答可



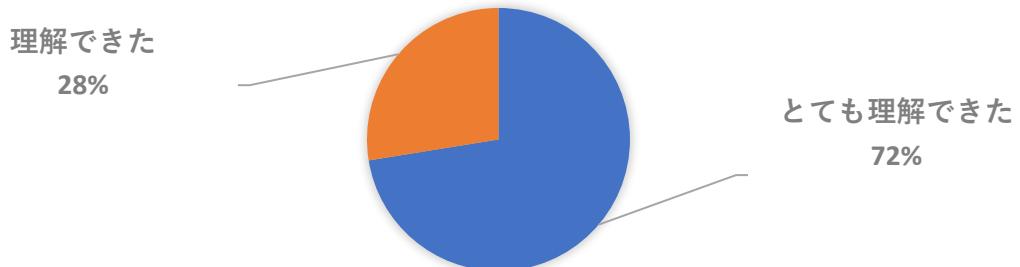
Q 5. 講演『看取り期の身体の変化』についてご回答ください

「看取り期の身体の変化」について、とても理解できたが71人（72%）と最も多く、理解できたが27人（28%）であった。

	人数	割合
とても理解できた	71	72%
理解できた	27	28%
どちらともいえない	0	0%
理解できなかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
合計	98	100%

n = 98

Q5.講演『看取り期の身体の変化』について



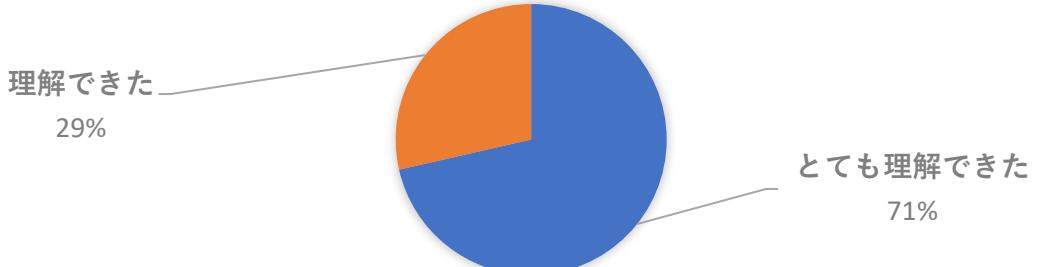
Q 6. 『看取りケア』についてご回答ください

「看取り期のケア」についてとても理解できたが70人（71%）理解できたが28人（29%）であった。

	人数	割合
とても理解できた	70	71%
理解できた	28	29%
どちらともいえない	0	0%
理解できなかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
合計	98	100%

n = 98

Q6.『看取り期のケア』について



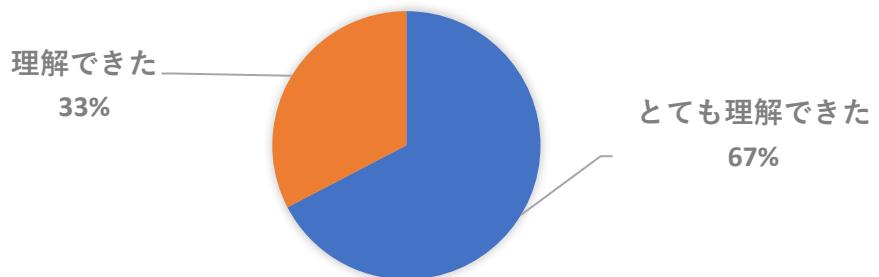
Q7. 『ご家族へのケア』についてご回答ください

「ご家族へのケア」についてとても理解できたが66人（67%）で理解できたが32人（33%）であった。

	人数	割合
とても理解できた	66	67%
理解できた	32	33%
どちらともいえない	0	0%
理解できなかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
合計	98	100%

n = 98

Q7. 「ご家族へのケア」について



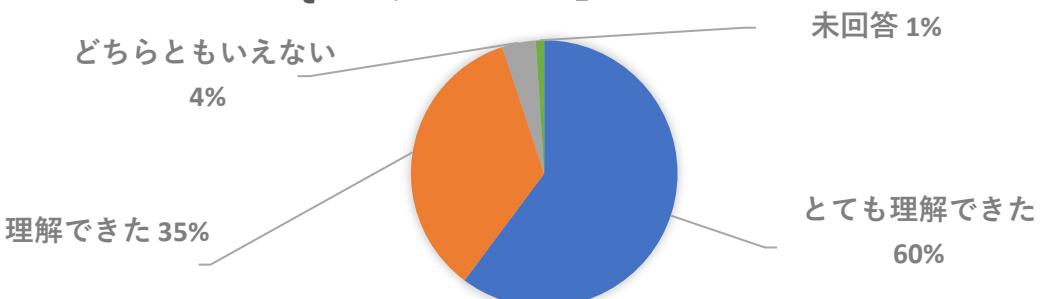
Q8. 『多職種連携』についてご回答ください

「多職種連携」について、とても理解できたが59人（60%）で理解できたが34人（35%）どちらともいえないが4人（4%）であった。

	人数	割合
とても理解できた	59	60%
理解できた	34	35%
どちらともいえない	4	4%
理解できなかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
未回答	1	1%
合計	98	100%

n = 98

Q8. 「多職種連携」について



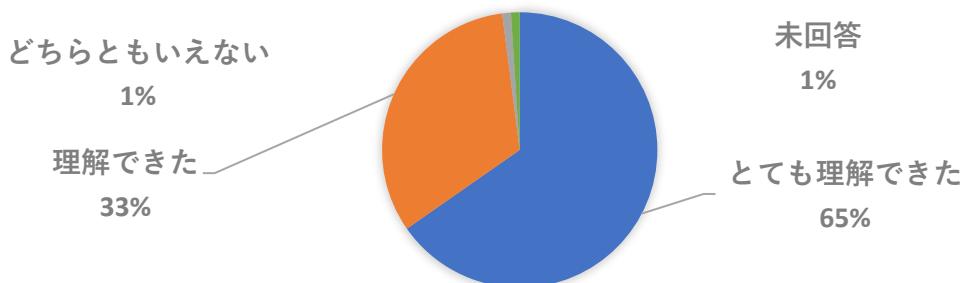
Q9.『看取りに関わるスタッフ自身のケア』についてご回答ください

「看取りに関わるスタッフ自身のケア」について、とても理解できたが64人（65%）で理解できたが32人（33%）どちらともいえないが1人（1%）であった。

	人数	割合
とても理解できた	64	65%
理解できた	32	33%
どちらともいえない	1	1%
理解できなかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
未回答	1	1%
合計	98	100%

n = 98

Q9.「看取りに関わるスタッフ自身のケア」について



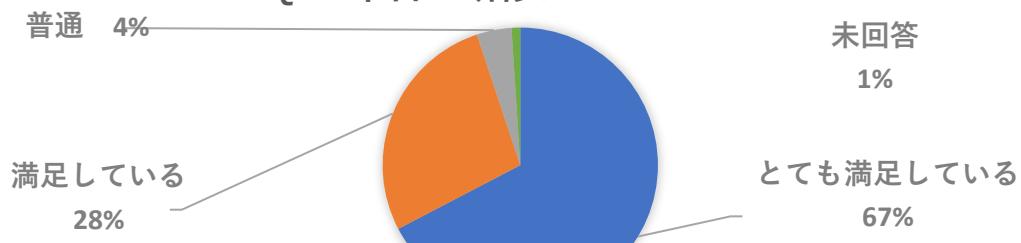
Q10.本日の研修について満足度をご回答ください

本日の研修について、とても満足しているが66人（67%）と最も多く、満足しているが27人（28%）普通が4人（4%）であった。

	人数	割合
とても満足している	66	67%
満足している	27	28%
普通	4	4%
やや満足	0	0%
満足していない	0	0%
未回答	1	1%
合計	98	100%

n = 98

Q10.本日の研修について



Q11. 本日の研修についてご意見やご感想をご記入ください。

【医師】

- ・看取りに対しての捉え方は十人十色で意見を交換しながらケアをすることが大切だと感じた
- ・今後は施設での看取りを考えてみたいです。

【医療機関看護師（訪看は除く）】

- ・「これからの過ごし方について」等のツールや活用方法のお話しがとても有用だと感じました。もともと看取りメインの施設で訪看をしていて、現在の慢性期病院での看取りについて迷いもあり、色々なお話を聴けて、こういうことがやっていきたいなと少しクリアになった気がしました。ありがとうございました。
- ・今まで、急性期慢性期の患者さんを看取ることがあるなか自分自身に問いかけても答えがでないことが多かったのですが、今回研修会を受けてしっくりおちる部分があり、ほっとしました。貴重な機会ありがとうございました。多職種連携、大切ですね。私の中では医師にこの研修をうけていただきたいと思いました。
- ・理解している様で理解していないことがたくさんあった。実際の場面に立った時どの様な言葉をかけたらよいか、患者だけではなく、家族への声かけなど、もう一度考え直したい。
- ・現場でしか経験できないことを具体的に説明して頂きありがとうございました。
- ・看取り期の家族を支えるための配慮や気遣い、迷いや細やかなケア対応は、チームでの連携が大切であること理解できました。看取りの機会は少ないけど勉強になりました。
- ・看取り目的入院の方が多い施設のため、今回の研修会は、とても学びになりました。今日の学びを施設スタッフへも伝達したいと思います。
- ・家族と一緒にできる事を考えることが看取りケアという事を理解できた。緩和ケア病棟における様々な話から関わりのあたたかさが伝わる講座でした。どうもありがとうございました。

【リハビリ職（ST）】

- ・看取りケアについてチームで話し合ってよりよいケアにつなげていきます。ありがとうございました。
- ・チーム体制について、日々疑問に感じていたことを質問できて良かった。デスカンフレンス、職員の心理的ケアについて、もう一度提案して取り組んでみようと思いました。

【MSW・PSW】

- ・患者家族が発する言動そのものだけでなく、その裏にある心情を拾いあげることの大切さをあらためて感じました。とてもためになります。ありがとうございました。
- ・看取りは不安があります。正解のない支援だと学びました。質問できなかつたので、もし回答してもらえることがあればしていただきたいです。2つあります。
 - ①患者家族（看取りとなった）にはじめて接触する時に行う準備はなんですか？
 - ②面談する時に心掛けていることはなんですか？
- ・看取りの患者さんに声かけする時に伝え方について不安があったのですが、本人、家族の言葉の裏にある背景に気づき思いに寄り添う気持ちが大切なんだと思いました。カンファレンスでは、私自身の思いや情報を共有できる場にできたらいいなと思いました。とてもいい機会でした。ありがとうございました。

【訪問看護師】

- ・とても分かりやすい講演をして下さりありがとうございました。
- ・緩和病棟様にはすごくお世話になっております。いつもありがとうございました。
- ・自分が体験した看取りを思い出してほっこりした。
- ・看取りに関わった時には、本人や家族との関係性に疲れた経験があったが（自宅や病院）在宅でじっくり時間をとり、関わった事で話を聞けたと思っていたが、関わることで全てを知れる訳でないという話に改めて納得できた気がします。

【訪問介護】

- ・とても興味を持って話を聞くことができました。
- ・施設の方で何人も利用者様を看取りしてきましたが、何度経験しても「これで良かったのかな？」と納得した事は一度もないです。ただ今回、デスカンファレスを行うことの大切さを発見しました。ぜひ、今後のためにも施設で取り入れていこうと思いました。

【看護職（施設・通所系）】

- ・質疑応答が様々な立場からの問い合わせがあり、勉強になりました。
- ・自施設で学びを活かしたいです。ありがとうございました。
- ・もう少し事例を入れて欲しかった。質疑応答は、とてもよかったです
- ・日々の看護業務で看取りケアが増えている中、この講演を聞けて学ぶことができ良かったです。ありがとうございました。
- ・現在、施設で看取りケアを行っていますが、大変よく理解できました。ありがとうございました！
- ・デスカンファレンスで皆で意見交換し、次につながるいいケアとなれるような話し合いがもてるといいなと思いました。

【看護職（施設・通所系）】

- ・多職種の方が質問されていて内容、職種によっての気持ちを改めて勉強することができました。

【介護職（施設・通所系）】

- ・今後、看取りケアに携わることがあれば、しっかり対応していきたいと思います。
- ・とても勉強になりました。お疲れ様でした。
- ・実際、私も母親、祖母を看取りました。胃ろうをしていたのですが、本人は嫌がって外そうとしていました。毎日顔を見に行って体調をみたり、ナースや介護の方が優しく接してくれたことはとてもよかったです。持ち直していたのですが急に体調が悪くなり、びっくりしたのを覚えています。それから3ヶ月後に亡くなりましたが、兄弟で3時間一緒に看取れたのはよかったです。
- ・現在、施設内で2名の看取りの方がいます。ご家族様への配慮にいつも苦慮していたので、今日の研修を機にご家族様への声掛けも行って行きたいと思いました。又、ただ死を待つのが看取りではなく、その人らしさ、人間の尊厳を大切にしていきたいと思いました。

【施設管理者・施設代表】

- ・それぞれの項目に関して、とても細かくまとめられていて、わかりやすかったです。

【支援相談員・生活相談員】

- ・本人、ご家族への関わり方について、これからの参考になりました。スタッフ間でも共有したい。また、このような「看取りケア」に関しての研修をやってほしい。なかなかないと思う。

【介護支援専門員】

- ・食事が取れなくなってきた利用者様に対し、一生懸命食事を食べさせようと頑張っている家族に対しどのように接したらよいのか悩んでいた。無理に食べさせないでいいですよと声掛けしていたが、家族の思いに寄り添えていなかったのかもと思いました。好きな食べ物は何だったのかなど家族から本人の話をたくさん聞けたらなあと思いました。本人をたくさん知るきっかけにもなると家族の思いも知ることができると感じました。ありがとうございました。
- ・オンライン開催が多くあると助かります。
- ・講演とこれからの過ごし方についてのパンフレットは大変参考になり勉強になりました。次の機会にも参加したいです。
- ・項目ごとに話題を分けてくれていたので、内容が理解しやすかったです。
- ・とってもわかりやすい研修でした。大変参考になりました。

【介護支援専門員】

- ・研修は連携より緩和ケアメインだったので、在宅看取りの話も聞きたい。
- ・身内を末期がんで亡くしたことがあり、家族のグリーフケアの大切さを学びました。
- ・小田島さん貴重な講演ありがとうございました。参考になる経験談でした。本人、家族にとって一番良い事を優先に考えていきたいと思います。うまくいかない理由を聞く支援も大事だと思いました。
- ・ガン末期患者の方が「1%でも手術できる可能性があれば手術したい。どうにか生きたい。治る方法を探していきたい。私には生きる希望はないのですか?」という声があり、どう返答すればと悩んだが、今日の講話を聞いて看取り期でも希望をもつ大切さを知ることができ大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・今後の参考になる話があり良かったです。質問でもいろいろな案件があり良かったです。デスカンファレンスの意味について目からウロコでした。
- ・分かりやすく説明を入れながら看取りに関わるスタッフのケアまで講話していただきありがとうございました。

【包括（社会福祉士）】

- ・多忙の中でのデスカンファレンスとても貴重だと思います。私自身は別の立場でできることを考えていきたいと思いました。今日のお話が聞けて、とてもよかったです。どうしたら良いか迷ったとき相談できる相手（立場は関係なく）がいることが大切ですね。

【包括（主任介護支援専門員）】

- ・久しぶりに参加して有意義な内容の話でした。
- ・多職種で支える看取りケア講話、大変参考になりました。今後も研修あれば参加したいと思う。

【包括（保健師）】

- ・地域にいるとなかなか看取りは縁がないように思うが、独居高齢者が増えていくので、病院嫌いの方も増えるのかな・・・とも思ったりします。貴重なお話ありがとうございました。

【その他（事務職）】

- ・場面場面のタイミングでどのようなことをすればよいか具体的に説明されていたので勉強になった。